

ワーカーズコレクティブが実施していることも食堂を わくわく組合員編集委員が取材しました。

(企)ワーカーズ・コレクティブ 紙ふうせん



### みんなの食堂

野田 <https://www.facebook.com/Kamifusen.noda/>

2月19日に実施された子ども食堂は、感染対策のため、お弁当とフードパントリー(食材の入った袋を配る)を実施。開始早々、年配の方、その後続々と小さなお子さんを連れとお母さんや家族連れが来店された。一人暮らしの方は、話し相手ができるだけでも嬉しいそうなので、早く対面で皆が集えるようになることを願わずにはいられない。この日のお弁当の中には、子どもがいないという高齢女性が作ってくださったおかずが一品入っていた。また、3か月に1回ほど小銭を集めて寄付をしてくださる方、民生委員の方、紙ふうせんに野菜を納品している農家なども活動を支えてくださっている。紙ふうせんは、野田市児童家庭課と連携している「野田市子ども食堂ネットワーク」や「とうかつ草の根フードバンク」「パルシステム」などからも支援を得ている。多くの人の協力により運営されていることがわかった。子ども食堂は貧困対策だけでなく、地域交流拠点としての役割もあり、今後ますます社会にとって必要な場になるのではないかと感じた。(企)=企業組合 (柏 B 大澤みはる)

NPO法人 ワーカーズコレクティブ 風車



### みんなの食堂風車

佐倉 <https://reuse-fuusha.net/>

「みんなの食堂風車」は、2021年6月から始まった新しい活動です。大人300円、子ども100円で、美味しい食事がいただけます。そして、次に来る誰かのために、1枚100円でお福分け券を販売しています。誰でもその券を使って食事ができます。困った時はお互いさまの仕組みです。私は昨年の秋に、息子と夫の3人で訪れました。同じように子どもを連れて来ている方や、高齢のご夫婦、色んな方が訪れていて、まさに「みんなの食堂」だと思いました。その日はピザ屋さんからピザの寄付もありました。スタッフさんが「ゆっくりしてってね」と私たち家族に声をかけてくれて、のんびりと美味しいランチをいただけてきました。

(佐倉 B 武政憲子)

(企)ワーカーズコレクティブ 回転木馬



### 子ども食堂メリーゴーランド

佐倉 <https://www.kaiten-mokuba.com/>

回転木馬では、毎月第2土曜日に「子ども食堂メリーゴーランド」を開催しています。現在はお弁当の形を取っています。品数豊富で彩り豊かなお弁当が並びました。子どもは無料です。開始の12時を過ぎると、次々と人が集ってきました。「回転木馬さんが作った給食を幼稚園で食べていたんです」「うちはひとり親なんです。仕事で疲れていて食事を作りたくない時もあるから助かります」という声を直接聞くことができました。子どもにはお菓子の配布もありました。色んなお菓子が入った箱を覗きながら、どれにしようか一生懸命悩んでいる子どもたちの姿が可愛らしく、その様子を眺める大人達も笑顔になっていました。お弁当は30分で終了し、その後、来た方も数人いました。また、電話で予約をして受け取りに来た方もいました。この食堂を必要として楽しみにしている方が沢山いることを、肌で感じました。(佐倉 B 武政憲子)

NPO法人 ワーカーズコレクティブ ういず



柏 <https://with-kitchencar.org/index.html>

キッチンカーでつながる地域の輪  
キッチンカーに並ぶ長い行列。100食の配布はすぐに終了。ライン登録のおかげで行列の回避もスムーズ。フードロスで近隣スーパーから寄付された野菜も一緒に配布。地域の方々の善意が感じられる。はじまりは小学校の校長先生からだ。担当の深田さんは、児童委員で地域の方やスクールカウンセラーからの信頼も厚い。商店会と通学路にある Kult コカフェ。立地の条件もいい。いきがいの場、介護予防、地域の支えあいの拠点だ。その場所が子ども食堂の会場となる。コロナ禍で一旦は自粛となったが、再開を望む声が上がった。そこで密を避けキッチンカーの移動式子ども食堂を稼働するために助成金を申請して事業を再開させた。お子さんと一緒に参加したKさん「参加し、知り合いの方がいたので働くことになった」。その小さなきっかけが子どもと地域をつなぐ社会貢献になり、その連携を支えるチーム力の輪が広がってほしいと感じた。(柏 B 田口由美恵)

